

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地			
専門学校東京ビジュアルアーツ		平成5年3月31日	清水 禎徳	〒 102-0081 (住所) 東京都千代田区四番町11 (電話) 03-3221-0203			
設置者名		設置認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人Adachi学園		昭和42年1月12日	安達 暁子	〒 102-0062 (住所) 東京都千代田区神田駿河台2-11 (電話) 03-3292-0662			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
文化・教養	映像専門課程	マスコミ出版・芸能学科(出版編集専攻)	令和2(2020)年度	-	-		
学科の目的	芸能業界のニーズに合ったカリキュラムを実施し、業界と協同しながら卒業後に社会で活躍できる人材の育成を目的とする。						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	実習授業が多い/他学科、他専攻と協力し、業界と同じシステム、チームワークでイベントや作品を制作 中途退学率15%・・・R4年4月1日時点における在学者47名(R4年度入学者含む)R5年度3月31日時点における在学者40名(R5年3月31日卒業者を含む)						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いづれかに記入 136 単位	44 単位	単位時間 単位	単位時間 92 単位	単位時間 単位	単位時間 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留學生数(生徒実員の内数)(B)	留學生割合(B/A)				
120の内 人数	42 人	3 人	7 %				
就職等の状況	■卒業者数(C)		20 人				
	■就職希望者数(D)		20 人				
	■就職者数(E)		17 人				
	■地元就職者数(F)		15 人				
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		88 %				
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		85 %				
	■進学者数		0 人				
	■その他						
	就職活動継続1名、フリーランス活動2名□ (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)						
	■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 出版社、編集プロダクション、広告代理店、校正会社、印刷会社 など						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体:		無		審査年月: 評価結果を掲載した ホームページURL		
当該学科の ホームページ URL	<a href="https://www.tva.ac.jp/department/mass/">https://www.tva.ac.jp/department/mass/</a>						
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	(A:単位時間による算定)						
	総授業時数		単位時間				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位時間					
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位時間					
うち必修授業時数		単位時間					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位時間					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位時間					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位時間					
(B:単位数による算定)							
総授業時数		136 単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		8 単位					
うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位					
うち必修授業時数		8 単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		8 単位					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		2 人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		0 人				
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0 人				
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0 人				
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0 人				
	計		2 人				
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		2 人					

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

各分野のエキスパートになるための専門知識・技術の習得と教養豊かな人間を形成する境域により、社会人基礎力・人間力・基礎学力を基本とし、専門知識・技術の習得と実務への適応力、自己啓発・自己形成の意欲向上、社会貢献できる人材を育成する授業カリキュラムの編成をおこなう。授業カリキュラムの編成にあたり、本校の職員のみならず、外部の企業・業界の有識者と連携し、より実践的な授業科目の開設や業界の動向を含めた授業内容の改善をおこなうことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長の下部、教員組織である学務部の上位に位置し、当校が実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業と連携し、必要な情報の把握・分析を行い、授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を含む職業教育の編成に活かすことを目的として組織する。年度のうち2度開催を原則とし、一回目は前年度の検証から改善案や必要に応じて年度内の実施措置、2回目は変更したカリキュラムの経過を見ながらさらなる検討を加え次年度カリキュラムへの確認を行うものとする。意思決定の過程としては次の通りとなる。①教育課程編成委員会②学科長カリキュラム会議③講師会(学校長、学科職員、講師の全体で集まる会議)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
五十嵐 洋志	特定非営利活動法人横浜コミュニティデザイン・ラボ	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	①
高澤 大樹	株式会社24chocolate	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	③
嶋田 咲紀	株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	③
清水 禎徳	専門学校東京ビジュアルアーツ 学校長	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
峯岸 太一	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科長	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
中條 優貴	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
岡崎 直人	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
畑村 彩子	専門学校東京ビジュアルアーツ キャリアサポートセンター職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年9月26日 15:00～16:30

第2回 令和5年2月27日 15:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

嶋田委員より、将来的に「企画」や「取材」などの実務に向き合う上で、より幅広く人との関わり合いを持ち、自身とは違う役割を持った方に「オファーする力」「交渉する力」が必要。学科をクロスオーバーした実習の実施など、検討できないか要望あり。  
→地域貢献イベントの企画制作の案や、通常授業の受講メンバーを入れ替え他専攻合同授業とするなど、発案されたものを実施するために継続調整中。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

メディアコンテンツの制作において、プロの現場と同様の企画～ディレクション～プロデュースの全工程を踏んだ制作実習を通じ、卒業後どのような制作現場でも活躍できる応用力を身につけることを基本方針とする。

最新のメディア業界の動向を踏まえ業界の求める人材育成を行うため、音楽プロデュース・ディレクション関連企業ならびに出版社より講師を派遣、校内の実習施設や設備を活用した指導等の協力を得る。

また、同社より実習内容・指導方法・評価方法等に関する助言ならびに資料提供を受け、学科担当教員と企業の講師がこれに検討を加え、実践的な授業の改善および工夫を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

「プロデュース研究1・2」では、音楽プロデュース・ディレクション等で多くの実績を持つ企業による監修のもと、ミュージシャンをテーマとしたプロモーション活動として、企画～Rec、宣材撮影、宣伝活動などの全行程を通じた制作フローを実際に経験。「業界研究ゼミ1・2」では、音楽を中心とした雑誌・書籍の発行、楽譜出版に関し実績のある出版社の編集マン監修のもと、雑誌制作における企画からプレゼン、取材、編集等の全工程を実践。

これらの実習を通じ、どのような制作現場にも対応可能なメディア分野で活躍できる人材を育成する。

学修成果の評価については、学科担当教員と企業の講師が事前に打合せを行い、学生の学修成果の達成度評価指標等について定めるものとしており、これにもとづき企業の講師により付された各学生の評価を元に、成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
プロデュース研究1	プロデュース・マネジメント論を学び、音楽制作・企画の進行を実践する。2ステップで行う「プロデュース研究」実習のステップ1として、コンテンツ企画～宣伝までの大枠を理解する。	株式会社24chocolate
プロデュース研究2	プロデュース・マネジメント論を学び、音楽制作・企画の進行を実践する。2ステップで行う「プロデュース研究」実習のステップ2として、実際のRec・撮影・現場マネジメント等を実践。	株式会社24chocolate
業界研究ゼミ1	実践的な編集業界の流れを踏襲しながら雑誌を制作する。2ステップで行う「業界研究ゼミ」のステップ1として、コンテンツ企画～取材・編集までの大枠を実践。	株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント
業界研究ゼミ2	実践的な編集業界の流れを踏襲しながら雑誌を制作する。「業界研究ゼミ1」の実習を踏まえ、レビュー・講評を交えながらより発展的な制作を行う。	株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 本学園では就業規則第79条において教職員研修の規定を定めており、学校は、教職員に対し、業務に必要な知識及び技能を高め、資質の向上を図るため、年に一度、必要な研修を行うものとしている。研修等は、学校の基本理念に則り、教育機関における専門分野の向上を目指すものとして位置づけ、実施された研修等の内容は、「すべて学生のために還元されるとともに、それを指導する責任と義務が教員の職責」とする。また、継続的に各専門分野に応じた学校内研修、企業研修および教育行政研修を行い、これを補完する。	
(2) 研修等の実績	
① 専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： 『るるぶ』企画・プレゼン研修&セミナー	連携企業等： 株式会社JTBパブリッシング
期間： 2023/1/29	対象： マスコミ出版・芸能学科 常勤教職員・助手
内容 コミュニケーションスキル、リサーチ力、企画力の向上を図り、学生指導に役立てるべく、JTBパブリッシング発行書籍『るるぶ』の企画立案～プレゼンテーションまでのワーク、ならびに同社編集者によるセミナーを受講。	
② 指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： 実習・行事におけるチーム活動について	連携企業等： 日本マナープロトコール協会
期間： 2023/3/29	対象： 常勤教職員・助手
内容 学生間の連携を促進しより業界力・人間力・現場力を高める目的において、ビジネスの観点からチームワークや組織貢献の在り方を再確認し、実習等における学生指導ならびに行事・イベント展開、カリキュラム作成に役立てる。	
(3) 研修等の計画	
① 専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： 「ハリー・ポッターと呪いの子」 舞台・プロモーション視察	連携企業等： 株式会社ホリプロ
期間： 2023/9/14	対象： マスコミ出版・芸能学科 常勤教職員・助手
内容 第一線で活躍する俳優・ダンサーによる演技とそれに望むマインドを学ぶ。 ポスター・劇場内装や販促物から物語への導入、舞台のプロモーション活動について実際に劇場やその近辺を視察し、最先端の興行を学ぶ。	
② 指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： メンタルヘルスを抱えた学生の対応について	連携企業等： 株式会社インソース
期間： 2024/3/27	対象： 常勤教職員・助手
内容 近年増加傾向にあるメンタルヘルスを抱えた学生の対応を学び、ひとりひとりの学生が継続的に学修できる教育環境の構築を目指す。	

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

教育目標に従った人材育成ができていないか、関係業界・卒業生を対象として学校点検と自己評価の結果に沿って説明をする「学校関係者評価」を実施しホームページ上で結果を公開する。その評価に基づき、改善事項をまとめ、優先順位を付けて予算化し改善プランを策定、学校長の許可を得て改善を行う。これを学校関係者評価の基本指針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2)学校運営	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3)教育活動	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか など
(4)学修成果	就職率の向上が図られているか など
(5)学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6)教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7)学生の受入れ募集	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか など
(8)財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか など
(9)法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか など
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか など
(11)国際交流	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか など

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

- ①足場研修など、就職に有利な資格については積極的に取得を推奨すべきとの意見を頂き、全学科へ呼びかけを行うこととした。
- ②学生には、現場に出た際、仕事・機材より命を最優先する指導を常にすべきのご意見を頂き、全学科へ指導。
- ③展示・発表の場など学科単位でなく学校として纏めて告知をした方が効果的であるというご意見を頂き、ホームページやSNSで徐々に改善を行っている。
- ④学内設備を活用した公開講座等の継続実施を検討すべきとの意見を頂き、近隣高校との週2コマの連携授業を開始。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
木澤 淳一郎	株式会社ウエストゲート	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
國竹 章一	クリエイター	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
江川 悦子	株式会社メイクアップディメンションズ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
平井 思帆	パフォーマー	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
清水 禎徳	学校法人Adachi学園	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	法人理事 兼 校長
松浦 加奈子	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	学校教職員
関 萌美	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	学校教職員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: [https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation\\_b.pdf](https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation_b.pdf)

公表時期: 2023/6/1

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業が求める時代に即した人材を育成するため、課題やニーズを共有し、学校の実践的な職業教育にかかる活動を評価・改善する中で、質の高い授業を行っていくために、広く雇用側の企業、関係団体、自治体等に向けて公表していくものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2) 各学科等の教育	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3) 教職員	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか など
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職率の向上が図られているか など
(5) 様々な教育活動・教育環境	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6) 学生の生活支援	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7) 学生納付金・修学支援	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか など
(8) 学校の財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか など
(9) 学校評価	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか など
(10) 国際連携の状況	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか など
(11) その他	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか など

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL: [https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation\\_b.pdf](https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation_b.pdf)

公表時期: 2023/6/1

## 授業科目等の概要

(映像専門課程 マスコミ出版・芸能学科 (出版編集専攻))																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			就職対策1	自己分析、企業研究等	1年前期	30	2	○			○		○		
2	○			業界概論1	出版業界の現状や求められる人材について解説①	1年前期	30	2	○			○		○		
3	○			メディア論1	様々なメディアの考察①	1年前期	30	2	○			○				○
4	○			取材・撮影実習	設定したテーマに沿って取材および撮影	1年前期	60	4			○	○				○
5	○			グラフィックデザイン	デザイン系ソフトを使用して作品制作(前期)	1年前期	60	4			○	○				○
6	○			エディターワーク1	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する①	1年前期	30	2			○	○				○
7	○			Office実習2	Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作(前期)	1年後期	30	2			○	○				○
8	○			Office実習1	Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作	1年前期	30	2			○	○				○
9	○			エディターワーク2	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する②	1年後期	30	2			○	○				○
10	○			視座共有	プロモーションツール・各種コンテンツの意義、クリエイターに求められる資質を理解	1年前期	30	2	○			○				○
11	○			Webデザイン1	架空のHPを制作し、Web制作を学ぶ①	1年前期	60	4			○	○				○
12	○			Webデザイン2	架空のHPを制作し、Web制作を学ぶ②	1年後期	30	2			○	○				○
13	○			就職対策2	企業研究、履歴書作成、面接指導等	1年後期	30	2	○			○		○		
14	○			業界概論2	出版業界の現状や求められる人材について解説②	1年後期	30	2	○			○		○		
15	○			メディア論2	様々なメディアの考察②	1年後期	30	2	○			○				○
16	○			Office実習2	Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作(後期)	1年後期	30	2			○	○				○
17	○			グラフィックデザイン	デザイン系ソフトを使用して作品制作(後期)	1年後期	60	4			○	○				○
18	○			グループ制作1	1,2年生合同でのグループ制作(1年時)	1年後期	60	4			○	○				○
19	○			業界研究ゼミ1	実践的な編集業界の流れを踏襲しながら雑誌を制作する①	1年後期	60	4			○	○				○
20	○			プロデュース研究1	紙媒体・Webにとられないメディアの制作①	1年前期	60	4			○	○				○

21	○		制作実習A1	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する（1年前期制作）	1年前期	30	2			○	○			○	
22	○		制作実習A2	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する（1年後期制作）	1年後期	30	2			○	○			○	
23	○		制作実習B1	デザイン系ソフトを使用して作品制作	1年後期	30	2			○	○			○	
24	○		特別授業1	自身の就職する業界についての基礎知識を取得し、自身の希望する職種を限定していく。	1年前期	0	2	○		○				○	
25	○		特別授業2	学校主催の合同企業説明会に参加し複数社から企業説明を受ける。自身の希望職種を決定させる。	1年前期	0	2	○		○				○	
26	○		特別授業3	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける①	1年後期	0	2	○		○				○	
27	○		特別授業4	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける②	1年後期	0	2	○		○				○	
28	○		就職対策3	企業説明会、面接対策	2年前期	30	2	○		○				○	
29	○		キャリアアップ	ビジネスマナーを学ぶ①	2年前期	30	2	○		○				○	
30	○		クリエイティブワーク1	制作、販売店への申し込み、販売、回収①	2年前期	60	4			○	○			○	
31	○		プロデュース研究2	紙媒体・Webにとられないメディアの制作②	2年後期	60	4			○	○			○	○
32	○		ジャーナリズム論1	その時起こっている世の中の出来事についてディスカッション①	2年前期	60	4	○		○				○	
33	○		ディレクション演習	雑誌を筆頭に印刷媒体で採用されている基本ワークフローを習得	2年前期	60	4			○	○			○	
34	○		ライティングワーク1	さまざまな状況に応じた原稿作成①	2年前期	60	4			○	○			○	
35	○		制作実習A3	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する（課題①-1）	2年前期	30	2			○	○			○	
36	○		制作実習A4	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する（課題②-1）	2年後期	30	2			○	○			○	
37	○		制作実習B3	デザイン系ソフトを使用して作品制作（課題①-1）	2年前期	30	2			○	○			○	
38	○		制作実習B4	デザイン系ソフトを使用して作品制作（課題②-1）	2年後期	30	2			○	○			○	
39	○		業界研究ゼミ2	実践的な編集業界の流れを踏襲しながら雑誌を制作する②	2年後期	30	2	○		○				○	○
40	○		色彩学1	色彩学の基礎の理解	2年前期	30	2	○		○				○	
41	○		ジャーナリズム論2	その時起こっている世の中の出来事についてディスカッション②	2年後期	60	4	○		○				○	
42	○		クリエイティブワーク2	制作、販売店への申し込み、販売、回収②	2年後期	60	4			○	○			○	
43	○		グループ制作2	1,2年生合同でのグループ制作（2年時）	2年後期	60	4			○	○			○	
44	○		制作実習B3	デザイン系ソフトを使用して作品制作（課題①-2）	2年後期	60	4			○	○			○	
45	○		ライティングワーク2	さまざまな状況に応じた原稿作成②	2年後期	30	2			○	○			○	

46	○		制作実習A3	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する①-2	2年前期	30	2			○	○			○
47	○		制作実習A4	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する②-2	2年後期	30	2			○	○			○
48	○		制作実習B3	デザイン系ソフトを使用して作品制作（課題①-3）	2年前期	30	2			○	○			○
49	○		制作実習B4	デザイン系ソフトを使用して作品制作（課題②-2）	2年後期	0	2			○	○			○
50	○		特別授業6	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事をするうえで有益な情報（好まれる人間性や重宝される技能等）を学ぶ②	2年前期	0	2	○			○			○
51	○		特別授業7	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受ける①	2年後期	0	2	○			○			○
52	○		特別授業8	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受ける②	2年後期	0	2	○			○			○
53		○	言葉と写真	言葉と写真のつながり、表現を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
54		○	動画編集ゼミ	動画編集の基礎について学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
55		○	映画入門ゼミ	映画の歴史・成り立ち・鑑賞の仕方を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4	○			○			○
56		○	着付けゼミ	浴衣の着付けを学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
57		○	クリエイターとしての基礎 デッサン講座	デッサンの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
58		○	初心者ProToolsゼミ	ProToolsの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
59		○	DTM/DAWゼミ	DTM/DAWの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
59		○	日舞ゼミ	日舞の基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
60		○	HIPHOPゼミ	HIPHOPダンスの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
合計						61	科目	172 単位（単位時間）						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 取得単位110単位以上 出席率75%以上		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望を取る。		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校東京ビジュアルアーツ		平成5年3月31日	清水 禎徳	〒 102-0081 (住所) 東京都千代田区四番町11 (電話) 03-3221-0203				
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人Adachi学園		昭和42年1月12日	安達 暁子	〒 102-0062 (住所) 東京都千代田区神田駿河台2-11 (電話) 03-3292-0662				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
文化・教養	映像専門課程	マスコミ出版・芸能学科 (エンターテインメントプロデュース専攻)		令和2(2020)年度	-	-		
学科の目的	芸能業界のニーズに合ったカリキュラムを実施し、業界と協同しながら卒業後に社会で活躍できる人材の育成を目的とする。							
学科の特徴(取得可能な資格、中途退学率等)	実習授業が多い/他学科、他専攻と協力し、業界と同じシステム、チームワークでイベントや作品を制作 中途退学率18%・・・R4年4月1日時点における在学者72名(R4年度入学者含む)R5年度3月31日時点における在学者59名(R5年3月31日卒業者を含む)							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間 136 単位	単位時間 68 単位	単位時間 単位	単位時間 68 単位	単位時間 単位	単位時間 単位
	生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)				
120の内 数	77 人	5 人	6 %					
就職等の状況	■卒業者数(C)		25	人				
	■就職希望者数(D)		20	人				
	■就職者数(E)		19	人				
	■地元就職者数(F)		14	人				
	■就職率(E/D)		95	%				
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		74	%				
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		76	%				
	■進学者数		2	人				
	■その他							
	フリーランス活動1名、就職活動継続2名 など (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)							
■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 芸能プロダクション、ファンクラブ運営会社、イベント制作会社、キャスティング会社、映像制作会社 など								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載			無				
	評価団体:	受審年月:	評価結果を掲載したホームページURL					
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.tva.ac.jp/department/mass/">https://www.tva.ac.jp/department/mass/</a>							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した演習の授業時数		単位時間					
	うち必修授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位時間					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位時間					
	(B: 単位数による算定)							
	総授業時数		136 単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		4 単位						
うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位						
うち必修授業時数		4 単位						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		4 単位						
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位						
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位						
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		0 人					
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		2 人					
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0 人					
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0 人					
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0 人					
	計		2 人					
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		2 人						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

各分野のエキスパートになるための専門知識・技術の習得と教養豊かな人間を形成する境域により、社会人基礎力・人間力・基礎学力を基本とし、専門知識・技術の習得と実務への適応力、自己啓発・自己形成の意欲向上、社会貢献できる人材を育成する授業カリキュラムの編成をおこなう。授業カリキュラムの編成にあたり、本校の職員のみならず、外部の企業・業界の有識者と連携し、より実践的な授業科目の開設や業界の動向を含めた授業内容の改善をおこなうことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長の下部、教員組織である学務部の上位に位置し、本校が実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業と連携し、必要な情報の把握・分析を行い、授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を含む職業教育の編成に活かすことを目的として組織する。年度のうち2度開催を原則とし、一回目は前年度の検証から改善案や必要に応じて年度内の実施措置、2回目は変更したカリキュラムの経過を見ながらさらなる検討を加え次年度カリキュラムへの確認を行うものとする。意思決定の過程としては次の通りとなる。①教育課程編成委員会②学科長カリキュラム会議③講師会(学校長、学科職員、講師の全体で集まる会議)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
五十嵐 洋志	特定非営利活動法人横浜コミュニティデザイン・ラボ	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	①
高澤 大樹	株式会社24chocolate	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	③
嶋田 咲紀	株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	③
清水 禎徳	専門学校東京ビジュアルアーツ 学校長	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
峯岸 太一	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科長	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
中條 優貴	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
岡崎 直人	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
畑村 彩子	専門学校東京ビジュアルアーツ キャリアサポートセンター職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年9月26日 15:00～16:30

第2回 令和5年2月27日 15:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

嶋田委員より、将来的に「企画」や「取材」などの実務に向き合う上で、より幅広く人との関わり合いを持ち、自身とは違う役割を持った方に「オファーする力」「交渉する力」が必要。学科をクロスオーバーした実習の実施など、検討できないか要望あり。

→地域貢献イベントの企画制作の案や、通常授業の受講メンバーを入れ替え他専攻合同授業とするなど、発案されたものを実施するために継続調整中。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

芸能コンテンツにおける、企画・レコーディング・宣材撮影・動画編集・宣伝・イベントマネジメント等、全工程を踏んだ制作実習を通じ、卒業後どのような現場でも活躍できる応用力を身につけることを基本方針とする。  
最新のエンタテインメント業界の動向を踏まえ業界の求める人材育成を行うため、音楽関係のプロデュース・ディレクション等で幅広い実績のある当該企業の代表を講師として派遣、校内の実習施設や設備を活用した指導等の協力を得る。  
また、同社より実習内容・指導方法・評価方法等に関する助言ならびに資料提供を受け、学科担当教員と企業の講師がこれに検討を加え、実践的な授業の改善および工夫を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

音楽関係のプロデュース・ディレクション等で多くの実績を持つ企業による監修のもと、音楽アーティストをテーマとしたプロモーション活動として、コンテンツ企画からレコーディング、宣材撮影、宣伝活動などの全行程を通じた制作フローを実際に経験し、どのようなプロモーション現場にも対応可能なエンタテインメント分野で活躍できる人材を育成する。  
学修成果の評価については、学科担当教員と企業の講師が事前に打合せを行い、学生の学修成果の達成度評価指標等について定めるものとしており、これにもとづき企業の講師により付された各学生の評価を元に、成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
宣伝プロモーション1	プロデュース・マネジメント論を学び、音楽制作・企画の進行を実践する。2ステップで行う「宣材プロモーション」実習のステップ1として、コンテンツ企画～宣伝までの大枠を理解する。	株式会社24chocolate
宣伝プロモーション2	プロデュース・マネジメント論を学び、音楽制作・企画の進行を実践する。2ステップで行う「宣材プロモーション」実習のステップ2として、実際のRec・撮影・現場マネジメント等を実践。	株式会社24chocolate

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本学園では就業規則第79条において教職員研修の規定を定めており、学校は、教職員に対し、業務に必要な知識及び技能を高め、資質の向上を図るため、年に一度、必要な研修を行うものとしている。研修等は、学校の基本理念に則り、教育機関における専門分野の向上を目指すものとして位置づけ、実施された研修等の内容は、「すべて学生のために還元されるとともに、それを指導する責任と義務が教員の職責」とする。また、継続的に各専門分野に応じた学校内研修、企業研修および教育行政研修を行い、これを補完する。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	『るるぶ』企画・プレゼン研修&セミナー	連携企業等:	株式会社JTBパブリッシング
期間:	2023/1/29	対象:	マスコミ出版・芸能学科 常勤教職員・助手
内容	コミュニケーションスキル、リサーチ力、企画力の向上を図り、学生指導に役立てるべく、JTBパブリッシング発行書籍『るるぶ』の企画立案～プレゼンテーションまでのワーク、ならびに同社編集者によるセミナーを受講。		

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	実習・行事におけるチーム活動について	連携企業等:	日本マナープロトコール協会
期間:	2023/3/29	対象:	常勤教職員・助手
内容	学生間の連携を促進しより業界力・人間力・現場力を高める目的において、ビジネスの観点からチームワークや組織貢献の在り方を再確認し、実習等における学生指導ならびに行事・イベント展開、カリキュラム作成に役立てる。		

#### (3) 研修等の計画

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	「ハリー・ポッターと呪いの子」舞台・プロモーション視察	連携企業等:	株式会社ホリプロ
期間:	2023/9/14	対象:	マスコミ出版・芸能学科 常勤教職員・助手
内容	第一線で活躍する俳優・ダンサーによる演技とそれに望むマインドを学ぶ。 ポスター・劇場内装や販促物から物語への導入、舞台のプロモーション活動について実際に劇場やその近辺を視察し、最先端の興行を学ぶ。		

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	メンタルヘルスを抱えた学生の対応について	連携企業等:	株式会社インソース
期間:	2024/3/27	対象:	常勤教職員・助手
内容	近年増加傾向にあるメンタルヘルスを抱えた学生の対応を学び、ひとりひとりの学生が継続的に学修できる教育環境の構築を目指す。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育目標に従った人材育成ができていないか、関係業界・卒業生を対象として学校点検と自己評価の結果に沿って説明をする「学校関係者評価」を実施しホームページ上で結果を公開する。その評価に基づき、改善事項をまとめ、優先順位を付けて予算化し改善プランを策定、学校長の許可を得て改善を行う。これを学校関係者評価の基本指針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2) 学校運営	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3) 教育活動	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか など
(4) 学修成果	就職率の向上が図られているか など
(5) 学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6) 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7) 学生の受入れ募集	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか など
(8) 財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか など
(9) 法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか など
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか など
(11) 国際交流	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか など

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ① 足場研修など、就職に有利な資格については積極的に取得を推奨すべきとの意見を頂き、全学科へ呼びかけを行うこととした。
- ② 学生には、現場に出た際、仕事・機材より命を最優先する指導を常にすべきとのご意見を頂き、全学科へ指導。
- ③ 展示・発表の場など学科単位でなく学校として纏めて告知をした方が効果的であるというご意見を頂き、ホームページやSNSで徐々に改善を行っている。
- ④ 学内設備を活用した公開講座等の継続実施を検討すべきとの意見を頂き、近隣高校との週2コマの連携授業を開始。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
木澤 淳一郎	株式会社ウエストゲート	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
國竹 章一	クリエイター	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
江川 悦子	株式会社メイクアップディメンションズ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
平井 思帆	パフォーマー	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
清水 禎徳	学校法人Adachi学園	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	法人理事 兼 校長
松浦 加奈子	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	学校教職員
関 萌美	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	学校教職員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: [https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation\\_b.pdf](https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation_b.pdf)

公表時期: 2023/6/1

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業が求める時代に即した人材を育成するため、課題やニーズを共有し、学校の実践的な職業教育にかかる活動を評価・改善する中で、質の高い授業を行っていくために、広く雇用側の企業、関係団体、自治体等に向けて公表していくものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2)各学科等の教育	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3)教職員	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか など
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職率の向上が図られているかなど
(5)様々な教育活動・教育環境	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6)学生の生活支援	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7)学生納付金・修学支援	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているかなど
(8)学校の財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるかなど
(9)学校評価	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているかなど
(10)国際連携の状況	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているかなど
(11)その他	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているかなど

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他( )

URL: [https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation\\_b.pdf](https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation_b.pdf)

公表時期: 2023/6/1

授業科目等の概要

(映像専門課程 マスコミ出版・芸能学科 (エンタメITプロデュース専攻))															
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			就職対策1	各種伝達事項共有・業界現状①	1年前期	30	2	○			○	○		
	○			ビジネスコミュニケーション1	就職に向けた企業説明会・面接対策①	1年前期	30	2	○			○	○		
	○			コンピュータ演習1	オフィス系ソフトの習得Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作①	1年前期	30	2			○	○			○
	○			業界組織論1	業界理解業界の現状や求められる人材について解説①	1年前期	30	2	○			○			○
	○			マネージメント実務1	業界の知識を深め、ビジネスして成立する仕組みを学習する①	1年前期	30	2	○			○			○
	○			プロデュース企画入門1	プロモーションツール・各種コンテンツの意義、クリエイターに求められる資質を理解	1年前期	30	2	○			○			○
	○			キャスティングプロデュース1	芸能界の構造と汎用的なマネジメントの概要を把握し、才能を発見する目を養う①	1年前期	30	2			○	○			○
	○			エンターテイメント研究1	職種、業種別に詳しく仕事を理解するコースに分かれて授業を実施①	1年前期	30	2			○	○			○
	○			サウンドプロデュース1	宣伝の実践各業態における音楽ビジネスへの理解を深める①	1年前期	30	2			○	○			○
	○			宣伝プロモーション1	映像メディアの多様性多メディアとの連動を理解し社会背景を意識した企画を立案①	1年前期	30	2			○	○			○ ○
	○			音楽ビジネス1	音楽業界のプロデュースについて学ぶ①	1年前期	30	2			○	○			○
	○			イベント企画演習1	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み(企画①)	1年前期	30	2			○	○			○
	○			文章入門1	ライター業務の習得さまざまな状況に応じた原稿作成①	1年前期	30	2			○	○			○
	○			表現演習(MAC)1	映像・デザイン系ソフトを使用した映像作品制作	1年前期	30	2			○	○			○
	○			WEB演習1	Web制作における基礎知識の習得課題制作を通して、Web制作を学ぶ①	1年前期	30	2			○	○			○
	○			就職対策2	各種伝達事項共有・業界現状②	1年後期	30	2	○			○	○		
	○			ビジネスコミュニケーション2	就職に向けた企業説明会・面接対策②	1年後期	30	2	○			○	○		
	○			コンピュータ演習2	オフィス系ソフトの習得Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作②	1年後期	30	2			○	○			○
	○			業界組織論2	業界理解業界の現状や求められる人材について解説②	1年後期	30	2	○			○			○

20	○		マネージメント実務2	業界の知識を深め、ビジネスして成立する仕組みを学習する②	1年後期	30	2	○			○			○
21	○		プロデュース企画入門2	企画立案準備自分の視点を明確にし他者に発信して反応を得る	1年後期	30	2	○			○			○
22	○		キャスティングプロデュース2	芸能界の構造と汎用的なマネジメントの概要を把握し、才能を発見する目を養う②	1年後期	30	2				○	○		○
23	○		エンターテイメント研究2	職種、業種別に詳しく仕事を理解するコースに分かれて授業を実施②	1年後期	30	2				○	○		○
24	○		サウンドプロデュース2	宣伝の実践各業態における音楽ビジネスへの理解を深める②	1年後期	30	2				○	○		○
25	○		宣伝プロモーション2	映像メディアの多様性多メディアとの連動を理解し社会背景を意識した企画を立案②	1年後期	30	2				○	○		○ ○
26	○		音楽ビジネス2	音楽業界のプロデュースについて学ぶ②	1年後期	30	2				○	○		○
27	○		イベント企画演習2	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み(企画②)	1年後期	30	2				○	○		○
28	○		文章入門2	ライター業務の習得さまざまな状況に応じた原稿作成②	1年後期	30	2				○	○		○
29	○		表現演習(MAC)2	デザイン系ソフトの習得デザイン系ソフトを使用して作品制作	1年後期	30	2				○	○		○
30	○		WEB演習2	Web制作における基礎知識の習得課題制作を通して、Web制作を学ぶ②	1年後期	30	2				○	○		○
31	○		特別授業1	自身の就職する業界についての基礎知識を取得し、自身の希望する職種を限定していく。	1年前期	0	2	○				○		○
32	○		特別授業2	学校主催の合同企業説明会に参加し複数社から企業説明を受ける。自身の希望職種を決定させる。	1年前期	0	2	○				○		○
33	○		特別授業3	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける①	1年後期	0	2	○				○		○
34	○		特別授業4	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける②	1年後期	0	2	○				○		○
35	○		就職対策3	各種伝達事項共有・業界現状③	2年前期	30	2	○				○		○
36	○		ビジネスコミュニケーション3	就職に向けた企業説明会・面接対策③	2年前期	30	2	○				○		○
37	○		コンピュータ演習3	オフィス系ソフトの習得Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作③	2年前期	30	2				○	○		○
38	○		プロダクションマネジメント1	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み(企画実行①)	2年前期	30	2				○	○	○	○
39	○		プレゼンテーション研究1	状況に応じたプレゼンテーションの習得プレゼンテーションの実践①	2年前期	30	2				○	○		○
40	○		エンターテイメントマーケティング1	職種、業種別に詳しく仕事を理解するコースに分かれて授業を実施③	2年前期	30	2	○				○	○	○
41	○		音楽トレンド研究1	宣伝の実践各業態における音楽ビジネスへの理解を深める③	2年前期	30	2	○				○		○
42	○		タレントプロデュース研究1	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み(ゲストタレント関連業務①)	2年前期	30	2				○	○	○	○

43	○		グッズ研究1	宣伝について理解を深める年度末の音楽イベント開催の宣伝への取り組み①	2年前期	30	2				○	○	○		○
44	○		映画・放送研究1	映像メディアの多様性多メディアとの連動を理解し社会背景を意識した企画を立案③	2年前期	30	2	○				○			○
45	○		写真研究1	エンターテイメントにおける写真の見せ方の研究①	2年前期	30	2	○				○			○
46	○		知的所有権1	知的所有権への理解をふかめる①	2年前期	30	2	○				○			○
47	○		表現技法 (MAC) 1	即戦力になるためのスキルアップビジネスマナー①	2年前期	30	2	○				○			○
48	○		WEB演習3	企画を立案し制作、営業までできるようになる	2年前期	60	4					○	○		○
49	○		就職対策4	各種伝達事項共有・業界現状④	2年後期	30	2	○				○			○
50	○		ビジネスコミュニケーション4	就職に向けた企業説明会・面接対策④	2年後期	30	2	○				○			○
51	○		コンピュータ演習4	オフィス系ソフトの習得Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作④	2年後期	30	2					○	○		○
52	○		プロダクションマネージメント2	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み(企画実行②)	2年後期	30	2					○	○	○	○
53	○		プレゼンテーション研究2	状況に応じたプレゼンテーションの習得プレゼンテーションの実践②	2年後期	30	2	○				○			○
54	○		エンターテイメントマーケティング2	職種、業種別に詳しく仕事を理解するコースに分かれて授業を実施④	2年後期	30	2	○				○	○		○
55	○		音楽トレンド研究2	宣伝の実践各業態における音楽ビジネスへの理解を深める④	2年後期	30	2	○				○			○
56	○		タレントプロデュース研究2	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み(ゲストタレント関連業務②)	2年後期	30	2					○	○	○	○
57	○		グッズ研究2	宣伝について理解を深める年度末の音楽イベント開催の宣伝への取り組み②	2年後期	30	2					○	○	○	○
58	○		映画・放送研究2	映像メディアの多様性多メディアとの連動を理解し社会背景を意識した企画を立案④	2年後期	30	2					○	○		○
59	○		写真研究2	エンターテイメントにおける写真の見せ方の研究②	2年後期	30	2	○				○			○
60	○		知的所有権2	知的所有権への理解をふかめる②	2年後期	30	2	○				○			○
61	○		表現技法 (MAC) 2	即戦力になるためのスキルアップビジネスマナー②	2年後期	30	2	○				○			○
62	○		WEB演習4	ライター業務の習得さまざまな状況に応じた原稿作成	2年後期	60	4					○	○	○	○
63	○		特別授業5	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事をするうえで有益な情報(好まれる人間性や重宝される技能等)を学ぶ①	2年前期	0	2	○				○			○
64	○		特別授業6	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事をするうえで有益な情報(好まれる人間性や重宝される技能等)を学ぶ②	2年前期	0	2	○				○			○
65	○		特別授業7	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受ける①	2年後期	0	2	○				○			○

66	○	特別授業8	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受ける②	2年後期	0	2	○			○	○		
67		○ 言葉と写真	言葉と写真のつながり、表現を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
68		○ 動画編集ゼミ	動画編集の基礎について学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
69		○ 映画入門ゼミ	映画の歴史・成り立ち・鑑賞の仕方を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4	○			○			○
70		○ 着付けゼミ	浴衣の着付けを学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
71		○ クリエイトする為の基礎デザイン講座	デザインの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
72		○ 初心者ProToolsゼミ	ProToolsの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
73		○ DTM/DAWゼミ	DTM/DAWの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
74		○ 日舞ゼミ	日舞の基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
75		○ HIPHOPゼミ	HIPHOPダンスの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間選択制	60	4			○	○			○
合計					75 科目			172 単位 (単位時間)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 取得単位110単位以上 出席率75%以上		1学年の学期区分	2期
履修方法： 自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望を取る。		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。